

お詫びと訂正

「メンタルヘルス・マネジメント検定試験Ⅱ種ラインケアコース過去問題集<2012年度版>」 (2012年10月1日 第1版第1刷発行)

本書 26 頁の第 35 問および 206 頁の第 24 問に誤りがございました。
謹んでお詫び申し上げますとともに、下記の問題、解説に訂正します。

<26 頁 第 1 章 第 35 問を以下に差し替える>

第 35 問

「ラインによるケア」において管理監督者に求められる役割に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つだけ選び、解答用紙の所定欄にその番号をマークしなさい。

- ① メンタルヘルス不調者を出現させないために、職場環境などの改善を普段から地道に行っておく必要がある。
- ② 職場の人間関係や職場文化・風土を改善することは、職場環境などの改善には該当しない。
- ③ コミュニケーションは、部下のストレスを把握するための基本かつ最も重要な方法である。
- ④ 部下からの自発的な相談に対応しながらも、すべて自分だけで対応しようとせず、必要に応じて事業場内外の産業保健スタッフや専門医への相談や受診を促すことが望ましい。

解答欄

出題回

第 10 回

公式テキスト

1-5-③

<206 頁 第 5 章 第 24 問を以下に差し替える>

第 24 問

②

公式テキストには、次のように記載されている。

▶公式テキスト p. 206

「相談者が問題解決のための手段や、利用できる資源・人材を知らないのであれば、それらに関する情報を提供することで問題は解決に向かいます。最初に相談を受けた側は、問題解決のために自分より他に適任者がいるのであれば、その人に相談するよう相談者を促すべきです。」

したがって、②が正解である。